

<http://www.minamih.net/>



10・12・19(日)
南NEWS NO50

葉山との交流、6年南招待、

アクシデントはありましたが、楽しく充実した2日間でした。計画・準備・実行、日溜まりハイクの付き添い、懇親会出席、ホームステイ受け入れ、大会運営へのご協力、本当に本当にありがとうございました。

葉山のみなさんは満足してお帰りになったことと思います。文化大での全ての予定が終わり、記念撮影、お別れのセレモニーでそのことを実感しました。

「来年は、もっとたくさんの八王子のみなさんが葉山に来てください」

とみなさんがおっしゃってくださいました。

大変なこともあります、子どもたちにとって貴重で有意義な体験になる行事です。大人達にとっても心温まる2日間だったのではないのでしょうか。



対面式 高尾山口駅前



沢ガニがいるかな



きつい登りのあとの1本

12月11日(土)
葉山のみなさんと
高尾山日溜まりハイク



頂上へ あと一息



みんなGAMBAったね

ドリブルの南 徹底を！！

……南はだんごサッカーなのに??と心配されている方がいるので……

○ポジションを教え、パスを教えるのは4年生から

1978年2月に創立以来、南は、どの子どもドリブルで相手を抜ける子に、その楽しさを味わってほしいと願い、ドリブルができない子にはボールを奪われる不安がつきまとい、有効なパスは出せない、サッカーを楽しめないと確認し、先ず、どの子どもドリブルのできる子に、3年生まではポジションを決めず全員攻撃・全員守備の“だんごサッカー”をと指導してきました。創立以来34年目、一度もぶれることはありませんでした。

ポジションを教え、パスを教えるのは4年生からです。周りをよく観る力のない低学年からポジションを教え、パスを教えることで、自分のポジションだけ守り、見方が攻められているのにカバーに入らない、ボールを受けたとき相手GKまでのスペースがあいているのに、ランウイズザボールで突き進むことなくパス

コースを探してしまうような子を育ててしまいます。たくさんそのような場面を見てきました。

勿論、子どもが自発的にパスを選択することを否定はしません。逆にトライしたことを認めているのです。でも、よかったかどうかは考えてもらいます。

来年から全日本大会も8人制です。小学生の時代から、できるのはDFだけ、FWだけという子をつくらず、全員攻撃・全員守備、どのポジションもこなせる子、常に数的優位をつくる選手の育成をめざしてのことです。

南の方針と一致します。南がめざしてきたことは間違いありません。“だんごサッカー”がピッチ全体を動き回り、接触プレーを恐れず積極的にチャレンジする子を育てるのです。

○常に勝ちたい方は他のクラブへ

ただ、南は蹴って走るチームにはなかなか勝てません。全員半分は出すのが原則で、その時上手な子、だけで勝とうとはしませんからおさらす。

でもいいのです。今の南の4年生以上の学年を観ればお分かりのようにだんだん勝てるようになるのです。みんなで上手くなって、みんなで楽しく勝つのが南の目標です。

3年以下の大会でも常に勝ちたいと思う方、パスを教えたい方は他のクラブに移るか、ご自分でクラブをつくってください。これは前から申し上げていることです。指導者会議でも毎年確認していることです。

○どの子どもにもドリブルの力を

ドイツ・ドルトムントで活躍している香川選手も、アジア大会で得点王になった永井選手もドリブルの名手です。だから試合を決めるパスも出せるのです。

ブロック予選や全日本大会都予選で上位に入るチームには、必ず、ドリブルの名手が何人かいます。南招待の2年生の大会でも、徹底してドリブルで突破しようとする子がいるチームが勝っていました。ぜひとも、ドリブルの力をどの子どもにつけてあげましょう。

○力をつけている南の子ども達

午後練でも練習の3分の2はドリブル練習です。技をかけたなら、全速力でランウイズザボール、次のポイントへという指導を徹底しています。

最近の南の試合を観ていると、ターンをよく使うようになりました。シザーズで相手をおかわしトップスピードのランウイズザボール、ストップゴー、右・左と連続のイスの形からGKをおかわしてゴール、2人の相手の間(ギャップ)をダブルタッチで抜く、マルセイユルーレットの連発等、多彩な技を駆使する子が増えています。

土・日の練習でGAMBAっている子どもも勿論伸びていますが、特に午後練に出ている子の伸びは見事です。ドリブルだけでなく、左右のキック力、アジリティという俊敏さも向上し、声も出るようになり、試合でその力を発揮しています。

努力は裏切りませんね。指導者として本当に嬉しいです。どの子ども、勉強もサッカーもGAMBAる子になってほしいですね。



たくさんの方の善意、思いやりで成り立っている南です。その期待、願いに応えるべく、やりたい人ができる範囲で力を尽くしていきましょう。どの子どもも楽しく伸びる南をみんなで創っていきましょう。よろしくお願いたします。

南八王子サッカークラブ代表 矢上